

安全データシート

A d B l u e (尿素水)

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2020/04/01
1.1 2022/04/01 100000001046 初回作成日: 2006/05/24

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : A d B l u e (尿素水)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : 三菱ケミカル株式会社
ポリマーズ&コンパウンズ企画本部 リスクマネジメント部
住所 : 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 100-8251
電話番号 : 03-6748-7501
電子メールアドレス : MCJP-MBX-MCC_jugito@mchcgr.com
FAX番号 : 03-6685-2051
緊急連絡電話番号 : 03-6748-7501

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 尿素 SCR システム搭載ディーゼル車用添加剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

GHS 分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

GHS 分類基準に該当しない。

注意書き

安全対策:

P280 保護手袋を着用すること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。

応急措置:

P305 + P351 + P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
P362 汚染された衣類を脱ぐこと。

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄:

P501 内容物および包装の廃棄については、認定施設において地域、地方、国、および国際基準に従って行うこと。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

安全データシート

A d B l u e (尿素水)

版番号 1.1 改訂日 2022/04/01 整理番号 100000001046 前回改訂日 2020/04/01 初回作成日 2006/05/24

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 尿素水溶液

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
尿素	57-13-6	>= 31.8 - < 33.2	2-1732 2-(7)-294
水	7732-18-5	>= 66.8 - < 68.2	非該当

4. 応急措置

一般的アドバイス : 危険域から避難させる。
吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移動する。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗い流す。
眼に入った場合 : 多量の水で洗浄すること。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
眼刺激が治まらない場合は、専門医に相談する。
飲み込んだ場合 : 口を水ですすぐ。
無理に吐かせないこと。
気分がすぐれなかったり、または皮膚に炎症が現れた場合は、医師に相談します。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 知見なし。
医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。
使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水
特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
消火を行う者の保護 : 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着する。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 : 安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性の吸収材 (例えば、砂、シリカゲル、酸性結合剤、汎用結合剤、おがくず) で吸収させる。
廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

安全データシート

A d B l u e (尿素水)

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2020/04/01
1.1 2022/04/01 100000001046 初回作成日: 2006/05/24

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 火災及び爆発の予防 : 標準的な防火方法。
安全取扱注意事項 : 蒸気/粉じんを吸い込まない。
洗淨水は、国及び地方自治体の規制に従い処分する。
- 接触回避 : 強酸化剤
次亜塩素酸塩類
- 衛生対策 : 休憩前や終業時には手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。
保管安定性に関する詳しい情報 : 通常の状態では安定。
指示通りに保管または使用した場合は、分解することはない。
-

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

許容濃度が設定されている物質を含有していない。

保護具

- 呼吸用保護具 : 通常、呼吸用保護具は必要ない。
手の保護具
- 備考 : ゴム製手袋
眼の保護具 : サイドシールド付き保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 : 不浸透性衣服
作業場にある危険物質の量および濃度に応じて、保護具を選択する。
-

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
色 : 無色, 透明
臭い : かすかな臭い
融点/凝固点 : -11.0°C (32.5%)
沸点, 初留点及び沸騰範囲 : 103.0°C (32.5%)
可燃性 (液体) : データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし
爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし
引火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : データなし
自然発火温度 : データなし
粘度
動粘度 (動粘性率) : データなし
-

安全データシート

AdBlue (尿素水)

版番号 1.1 改訂日: 2022/04/01 整理番号: 100000001046 前回改訂日: 2020/04/01 初回作成日: 2006/05/24

溶解度
水溶性 : 可溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値) : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び／又は相対密度
比重 : 1.09 (20 ° C)
相対ガス密度 : データなし
粒子特性
粒子サイズ : データなし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 通常の周囲室温および圧力では安定。
化学的安定性 : 通常の状態では安定。
危険有害反応可能性 : 強酸化剤と反応すると火災・爆発の危険性がある。
避けるべき条件 : データなし
混触危険物質 : 強酸化剤
次亜塩素酸塩類
危険有害な分解生成物 : 窒素酸化物 (NOx)
アンモニア

11. 有害性情報

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

成分:

尿素:

急性毒性 (経口) : LD50 (ラット): 14,300 mg/kg

皮膚腐食性／刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

発がん性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

安全データシート

A d B l u e (尿素水)

版番号 1.1 改訂日: 2022/04/01 整理番号: 100000001046 前回改訂日: 2020/04/01 初回作成日: 2006/05/24

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

誤えん有害性

利用可能な情報に基づく限り分類されない。

詳細情報

製品:

備考 : データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

成分:

尿素:

魚毒性 : LC50 (*Oreochromis mossambicus*): 22, 500 mg/l
曝露時間: 96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物
に対する毒性 : EC50 (*Daphnia magna* (オオミジンコ)): 3, 910 mg/l
曝露時間: 48 h

残留性・分解性

成分:

尿素:

生分解性 : 化学的酸素要求 (量)
結果: 易分解性。 生分解: 61 % 曝露時間: 28 d

生体蓄積性

成分:

尿素:

生体蓄積性 : 生物濃縮因子 (BCF) : 1 備考: 測定値
n-オクタノール/水分配係数 : log Pow: -2.11 (25.0 ° C) 備考: 測定値
(log 値)

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

安全データシート

AdBlue (尿素水)

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2020/04/01
1.1 2022/04/01 100000001046 初回作成日: 2006/05/24

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : 廃棄物を下水へ排出してはならない。
薬剤または使用済み容器で池、水路、溝を汚染しないこと。
認可された廃棄物処理業者へ委託する。

汚染容器及び包装 : 残りの容器を空にする
製品入り容器と同様に処分する。
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

非該当

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物

非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

非該当

安全データシート

AdBlue (尿素水)

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: 2020/04/01
1.1 2022/04/01 100000001046 初回作成日: 2006/05/24

船舶安全法

危険物として規制されていない

航空法

危険物として規制されていない

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Z類)

個品輸送 : 海洋汚染物質には該当しない

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積み輸送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - テリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリ; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリ; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA